

学校通信

若松中央

発行 北九州市立若松中央小学校
校長 成重 純一

＜若松中央小学校 めざす子ども＞

- 言葉を大切にし、言葉でよりよい人間関係を築く子ども
- 意味やねうちを考え、感じて行動する子ども
- 目標に向かって粘り強く努力する子ども

大雪に笑顔はじける

奄美大島では115年ぶり、久米島では39年ぶりに雪を観測した今年。先月25日は、子どもたちの登校が一時危ぶまれるような大雪となりました。

運動場では、ご覧のとおり、子どもたちは、北部九州では珍しくなった雪合戦や雪だるまづくりを楽しみました。

福岡市が休校を決定したというニュースが流れたため、迷われた保護者の方もいらっしゃると思います。子どもたちは無事に登校して楽しく過ごし、下校することができました。ご配慮に感謝いたします。



チャレンジランニング記録会 ご声援ありがとうございました

チャレンジランニング記録会は、予定どおり、3日(水)に決行しました。5年、3年、1年と順に進んでいたのですが、途中で雨が降り始めたため、子どもたちの健康と安全を第一に考え、2年、4年、6年の当日の記録会開催を中止としました。そして、翌日、安定した天気にも恵まれ、無事、三つの学年の記録会を実施することができました。

練習の成果が実った子どもも、実力を発揮できなかった子どももいるでしょうが、「苦しいけど、がんばってみる」という貴重な体験ができたと思います。チャレンジランニング以外にもそうしたちょっとしたハードルを大人がさりげなく用意し、乗り越えさせることで、粘り強い子どもに成長すると考えています。来校された皆様、ご声援ありがとうございました。

ネットトラブル防止3校合同研修会から

テレビや新聞で報じられる殺人事件や暴行事件などの背景に、インターネットを介したツールが絡んでいることがよくあります。子どもたちが、将来、このような事件に巻き込まれないようにするために、先月、深町小、修多羅小、若松中央小の3校の教職員が深町小学校に集まって、合同研修会を行いました。そこで知ったことや学んだことをいくつか挙げてみます。

- インターネットの特性は、「①公開されること、②匿名性があるようでないこと、③取り消せないこと」の3点である。
- 問題のある写真をアップロードすると、本人だけでなく、家族のデータまで拡散されることがある。
- インターネット上で優しい人物が、本当にそうだとは限らない。
- インターネットにつながる機器は、子どもに「買い与える」のではなく、「貸し与える」のがよい。
- 情報モラルを身に付けるには、「情報技術の知識」と「道徳的な知識」に加えて、「合理的な判断の知識」が必要である。

インターネットは、世界中の人が目にすることができるということを忘れないように、機会あるごとに便利さと同時に怖さも教えていきます。ご家庭でも話題にしてお話ししてください。

